

2018年6月30日

第8期（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急キッチンエール関西

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	973,960	(負 債 の 部)	2,507,085
流 動 資 産	922,619	流 動 負 債	2,486,765
現金及び預金	7,283	買掛金	410,581
売掛金	814,725	短期借入金	1,800,759
商品	85,590	未払金	138,270
貯蔵品	9,840	未払費用	23,292
前払費用	10,582	未払消費税等	20,420
仮出金	85	未払法人税等	746
未収入金	951	前受金	376
貸倒引当金	△ 6,440	預り金	3,849
		賞与引当金	23,123
		ポイント引当金	65,345
固 定 資 産	51,341	固 定 負 債	20,320
有 形 固 定 資 産	18,291	退職給付引当金	13,230
建物附属設備	0	役員退職慰労引当金	7,090
機械及び装置	4,611		
器具及び備品	13,680		
		(純 資 産 の 部)	△ 1,533,125
無 形 固 定 資 産	32,248	株 主 資 本	△ 1,533,125
ソフトウェア	32,248	資 本 金	10,000
施設利用権	0	資 本 剰 余 金	2,500
		資 本 準 備 金	2,500
投資その他の資産	800	利 益 剰 余 金	△ 1,545,625
差入保証金	800	そ の 他 利 益 剰 余 金	△ 1,545,625
その他の投資	0	繰越利益剰余金	△ 1,545,625
合 計	973,960	合 計	973,960

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商	品	総平均法	
貯	蔵	品	最終仕入原価法

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
無形固定資産	定額法

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。
賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
ポイント引当金	販売促進を目的とするポイント制度により、顧客へ付与したポイントの利用に備える為、ポイント失効実績率を使用し将来利用されると見込まれる額を計上しております。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
役員退職慰労引当金	役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。 ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
-----------	---

当期純損益金額

当期純損失	124,872千円
-------	-----------